

骨髄ドナー休暇について ～みなさまの理解と協力が患者さんの命をつなぎます～

～事業主のみなさまへ～

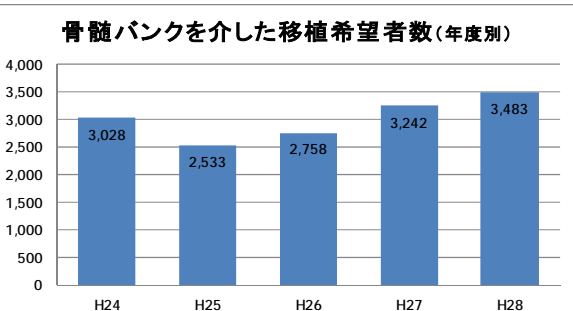
白血病や再生不良性貧血などの病気は、骨髄移植や末梢血幹細胞移植という治療法で治すことができるようになりました。この治療法には提供者（ドナー）がどうしても必要ですが、まだまだ不足しており、移植を受けられない患者さんがいます。

骨髄移植には、白血球の型（HLA型）が一致しなくてはなりません。非血縁者（他人）間では数百から数万分の1の確率しか一致しないため、多くの方のドナー登録が必要です。ドナーが骨髄提供するには、3泊4日程度の入院を含め、合計10日間程度の休業が必要ですが、休業補償がないなど、現状では、ドナーの方にかかる負担が多くなっています。

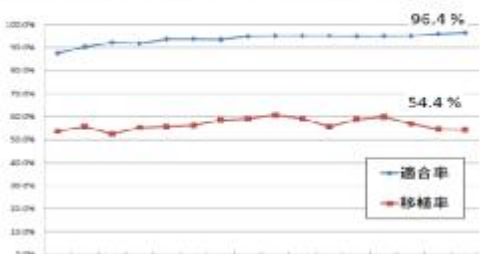
「ドナー休暇」制度の導入や周知など、骨髄提供しやすい環境整備についてご理解、ご協力をお願いします。

骨髄移植とは？

白血病や再生不良性貧血などの病気によって、正常な造血が行われなくなってしまった方の造血幹細胞を健康な方の造血幹細胞と入れ替えることにより、造血機能を回復させる治療法です。



国内患者のHLA適合率と移植率



多くのドナーが仕事を理由に骨髄の提供を断念しています

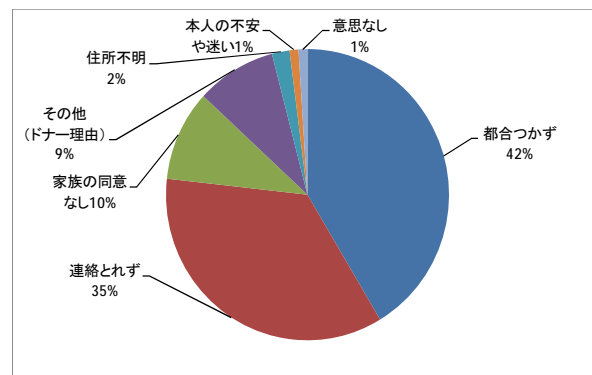
日本では毎年新たに約1万人の方が、白血病などの血液疾患を発症しています。

そのうち、骨髄バンクを介する移植を必要とする患者さんは、毎年2,000人以上です。

しかし、多くのドナーが仕事上の理由を含め、健康理由以外を理由に、骨髄の提供を断念しています。

ドナーとなった従業員が骨髄提供を行うには、事業主や職場の理解と、休暇制度などの環境づくりが必要不可欠です。

【ドナー特別休暇を取りまく状況】



(出典：日本骨髄バンク)

Q1: 部下からドナー候補者になったと相談がありました。どのくらい仕事を休むことになりますか？

A. ドナー候補者となっても、必ず提供するとは限りません。適合してから採取までは約2～4か月かかります。骨髄提供の場合提供時には採取の1～2日前に入院し、通常3泊4日の入院になります。そのほか提供に至るまでに確認検査、最終同意等、8回前後、医療機関へ足を運ばなくてはなりません。

Q2: 提供後、仕事はいつから再開できますか？

A. 通常は採取後2～3日で退院し、復職が可能となります。ただし、1週間程度、過度の運動や重労働は避けていただく必要があります。

Q3: 我が社にはドナー休暇がありません。他社の状況は？

A. ボランティア休暇の一部として扱ったり、特別に有給休暇として認めている会社もあります。個々の会社の状況に合わせながらも社会貢献の一環として、前向きに取り組んでいただければと思います。

<参考：ドナー休暇導入企業はこちら>
http://www.jmdp.or.jp/help_us/support/post_81.html